

特集

南西諸島

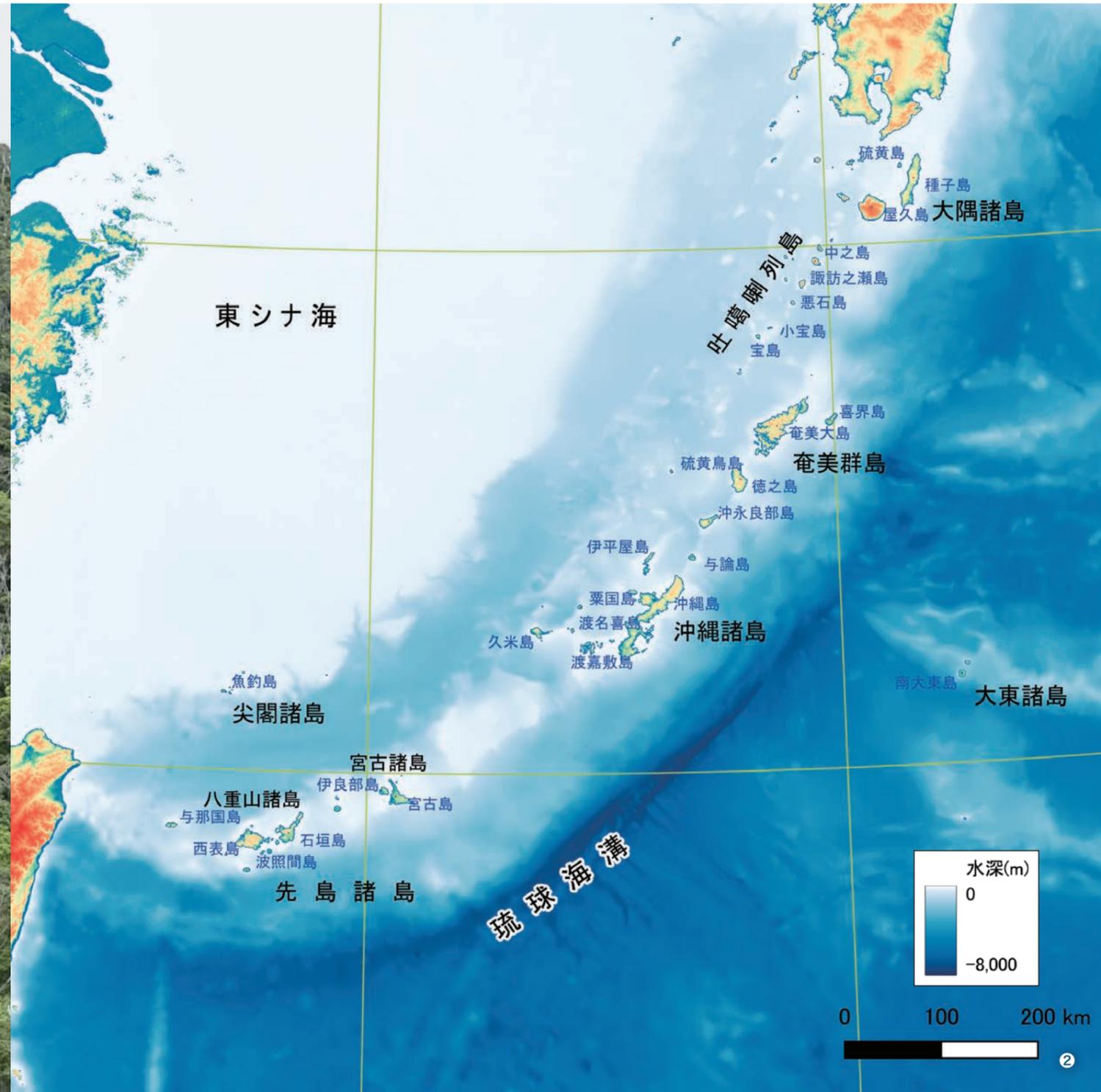
島々の成り立ちが育んだ 生物の宝庫

日本列島の南西には九州南端から台湾までの約1,200kmにわたり大小190以上の島が弧状に連なっている。この島々には様々な呼称があるがここでは全体の総称として「南西諸島」と呼ぶ。

ユーラシア大陸と陸続きであった現在の南西諸島は大陸から移動してきた多くの動植物とともに島々に分離しその後の氷河期や地殻変動により大陸や他の島と繋がったり離れたりを繰り返しそのたびに生物の往来や島での独自の進化が進んだ。結果、固有の生物が数多く生息する生物多様性に富んだ地域となっている。

その自然の多様性と固有種の多さから「生物の宝庫」とも呼ばれる南西諸島。この島々にはまだ解明されていない謎も多い。島々の成り立ちと南西諸島ならではのユニークな環境や生物について探る。

- ① ヤンバル/高見元久
- ② 南西諸島の位置図/作成 松田明浩
- ③ 鍾乳洞/松野奈実
- ④ 石垣島/松元涼子



①

③

④